

2017年度 体育学研究科(体育学専攻) 博士後期課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	授業形態	単位	担当者名
健康科学特殊研究A	1年次春学期 (1セメスター)	講義 ※演習含む	2	坂本 龍雄、清水 卓也 光山 浩人
授業概要				
<p>一般的なスポーツ健康科学についての研究における、対象を観察する視点を幅広く習得し、有能な研究者になるために必要なさまざまな概念を用いながら、講義・演習をおこなう。少人数を対象とした、複数の教員による形式なので、多面的なミクロの視点、マクロの視点など研究に有効な方法論を修得する。</p>				
授業目標(到達目標)				
<p>健康やスポーツに関する研究対象を、ミクロの視点(生物学、生理学的な視点)、マクロの視点(疫学的視点)で分析し、仮説を立て、それに対する合理的な妥当性のある研究の方法論を提示できること。</p>				
成績評価方法・基準				
<p>授業内のテーマに関する討議の発言内容とセメスター内の授業で作成したレポート内容の講義理解度を採点対象とする。</p>				
教科書・教材・参考文献 等				
<p>特になし</p>				
授業計画				
	項目・内容	担当		
1	疫学総論:スポーツ健康科学に関する基本的知識、背景	坂本		
2	研究方法:疫学的な視点からの研究手段	坂本		
3	個体と集団:個体の多様性が集団の分析に与える影響	坂本		
4	研究におけるバイアス:研究に於ける結果の解釈を偏らせる要因	坂本		
5	研究具体例:呼吸器疾病モデルの研究法	坂本		
6	研究倫理:研究における倫理的側面を解説	坂本		
7	基本的背景:生物学的な基本的概念の整理	清水		
8	スポーツ傷害の病因論:局所組織のひずみを増大させる要因	清水		
9	overuseとは:外力に対する生体の応答	清水		
10	加齢変性運動器疾患の病因論:加齢性変化をおこす要因について解説	清水		
11	運動連鎖の基本的概念:運動連鎖はなにによりコントロールされるか	清水		
12	身体の評価手段:局所ひずみをおこす要因を捉える評価法について解説	清水		
13	運動器傷害の修復:組織修復のメカニズムを解説	光山		
14	運動器における軟骨傷害:軟骨傷害の病態を実際の画像等で解説	光山		
15	スポーツ傷害の画像評価:単純レントゲン、CT、MRIによる診断の実際	光山		
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)				
<p>「健康科学特殊研究B」を合わせて履修することが望ましい。</p>				